

令和6年度学校運営協議会 湯前小学校に対する評価

【数値評価】 4：できている 3：概ねできている 2：あまりできていない 1：できていない

	評価項目の具体的な内容	数値評価	気付きや課題解決に向けた提言
確かな学力の育成	授業や行事を通して、「進んで学びよく考える児童」を育てようとしている 児童が「分かる、できる」指導に努めている 授業の中でICTを効果的に活用している 児童の実態に合わせて、家庭学習の内容と量を工夫している	3. 6	・指導主事を活用した研修、児童により分かりやすく達成感を与えるような授業の取組がされていた。 ・先生方の意識が高くなってきたからこそこの評価だと思う。 ・授業の板書が丁寧ですばらしい。
豊かな心の育成	授業や行事を通して、「思いやりをもち助け合う児童」を育てようとしている 道徳教育を大切にし、様々な体験活動を通して、豊かな心を育てようとしている 家庭と連携し、児童の生活習慣の定着や規範意識の確立に努めている いじめの未然防止やいじめが起きたときの早期対応に努めている 不登校の未然防止や不登校（欠席の多い）児童に対する継続的な支援に努めている	3. 8	・職員の働き方改革を進めながらも不登校児童や保護者に対応され、確実に結果を出されている。学校との関係を切らさない対応を今後も期待したい。 ・児童の変化に気づき児童が話しやすいような支援、対応をお願いしたい。
健康な体の育成	授業や行事を通して、「たくましく粘り強い児童」を育てようとしている 授業や行事を通して、児童の体力向上を図っている 健康教育や食育を通して、健康的な生活ができる力の育成を図っている 安全教育や防災教育を通して、安心・安全な学校づくりに努めている	3. 5	・運動の日常化や外部の方の講話など子どもたちに意識づけることが大切。 ・肥満傾向の児童も。健康な体作りに向けて食育もぜひ進めてほしい。 ・運動会のきびきびした動きが日頃の取組の賜物だと感じた。
郷土愛の育成	授業や行事を通して、「郷土に学び郷土を愛する児童」を育てようとしている	3. 6	・無理の無いよう学べる環境づくりがあるとよい。 ・授業で湯前町のことをしっかり学んでいる。郷土への理解や愛情の高まりを実感できる指導をお願いしたい。

令和6年度学校運営協議会 湯前小学校に対する評価

【数値評価】 4：できている 3：概ねできている 2：あまりできていない 1：できていない

	評価項目の具体的な内容	数値評価	気付きや課題解決に向けた提言
人権教育の充実	人権教育を通して、人権意識の高揚と自他の人権を守る実践的行動力の育成を図っている 児童一人一人の人権が尊重される教育環境づくりに努めている	3. 8	・各学年でスローガンを決めて取り組まれている。職員の人権教育研修もぜひ続けてほしい。 ・差別のない社会に向けて、児童一人ひとりが考えてくれるようになってほしい。
特別支援教育の充実	支援の必要な児童に対して、分かりやすい授業づくりや必要な支援（配慮）に努めている 支援の必要な児童に対して、一人一人のニーズに応じた指導や支援に努めている 必要に応じて、医療や福祉などの関係機関と連携を図っている	3. 9	・保護者との連携が大切であり、職員のスキル向上の研修もなされている。SC、SSWの活用もできている。 ・一人一人の特性にあった取り組みがなされている。
地域とともにある学校づくり	地域の人材を活用した学習や地域の方との交流活動に努めている 併設型一貫校として、授業や行事等で中学校との連携を行っている 不祥事防止に努め、児童や保護者から安心・信頼されている	3. 5	・中学校との連携など積極的に行われている。 ・地域の方との交流活動では挨拶もよくできている。 ・地域学校協働本部とよく連携できている。

【全体を通してのご意見】

- 学校の取り組みが少しずつ成果が出てきている。子どもの居場所づくりはとても大切。いろいろなところと連携しながら丁寧な取り組みをお願いしたい。
- 不登校の問題は、家庭だったり学校だったり友達関係だったり、何かこれという原因や解決策がない時もあり、本当に難しい。学校でいろいろ取り組まれてきたことが少しでも成果につながれば。居場所づくりにもいろいろ取り組めたら。
- 不登校対応等、各学校で課題にしっかりと取り組んでいただいた。改善の状況を具体的に今回初めて数値で示していただき、取り組みの成果がとても分かりやすかった。

○今年、社協・デイサービスに子どもが職場体験に来てくれた。地域を支える人材をどう育てるかはとても大切。学校で地域のボランティア活動への参加・協力なども進めてもらえるといいのではないか。

○不登校については周りの支えが大切だと思う。12月に町の研修会でそういう方の講話があり、学校も参加されたと聞いてよかったです。町の図書館などいろいろな機関を活用して居場所を作ってほしい。